

## 4 第9回 GCS 推進会議当日の主なご意見について

前項までにご紹介した『まちづくりガイドライン』や『個別整備計画』に対して、第9回GCS推進会議当日に委員等の皆様から頂いた主なご意見をご紹介します。今後、頂いたご意見を踏まえ、検討を進めて参ります。



「大宮らしさ」とは何かが伝わらない。全体として、大宮にとって何が大事か、大宮の価値を踏まえた内容にすべき。

現状の大宮の写真がないためわかりにくい。現状での大宮の良い点、悪い点、こうすれば良くなる、といった内容の比較があると理解しやすくなるのでは。



ガイドラインと個別整備計画のつながりが見えない。基盤のあるべき形を示した上で、個別整備計画を示すべきではないか。全体の計画があって個別計画が記載されていくような構成となると良い。

構想実現案は第1案で決定したということか。駅前広場や交流広場の広さはまだ決定されていないということで良いか。



技術の進歩により将来の交通広場のあり方も変わってくるのではないか。

「公共的空間等の検討エリア」や「駅舎と駅ビル等機能の検討エリア」の議論はこれからだと認識している。



新東西通路についての扱いが少ないのではないか。

## 5 今年度の GCS 関連スケジュール (案) について



引き続きご協力の程  
よろしくお願ひします！



【GCS 構想ホームページへのアクセス方法】

以下の2つの方法からアクセスできます。ぜひご覧ください。

①キーワードで検索▶

②QR コードを読み取り▶



※その他、GCS 構想に関するお問合せがありましたら、下記までご連絡ください。

連絡先：さいたま市 都市局 都心整備部 東日本交流拠点整備課 拠点施設整備係  
[TEL] 048-646-3281 [FAX] 048-646-3292

第13号

# Grand Central Station NEWS

大宮駅グランドセントラルステーション化構想 ニュース

発行 令和元年12月 さいたま市

師走の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る11月14日（木）に『第9回大宮グランドセントラルステーション推進会議（GCS推進会議）』を開催しました。

本号では、第9回GCS推進会議で提示した『（仮称）GCSプラン（案）たたき台』に含まれる、『まちづくりガイドライン』及び『個別整備計画』の検討状況と、当日頂いた主なご意見についてご紹介します。

引き続き、GCS構想の実現に向けて、積極的な検討を進めて参りますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。

## 1 第9回 GCS 推進会議について

第9回GCS推進会議では、パブリック・コメントの結果を反映した『まちづくりガイドライン』及び、交通広場・交流広場の配置等に関する「構想実現案」や「駅改良計画」を含む『個別整備計画』の検討状況についてご説明しました。特に現在2案ある「構想実現案」及び「駅改良計画」については、関係者との協議・調整や地元の皆様のご意見を踏まえて検討した結果をお示しし、ご意見を頂きました。

今後は、年度末の『（仮称）GCSプラン（案）』のとりまとめに向けて、今回ご提示した“たたき台”をもとに、関係者協議や詳細な検討を進めていきます。

『まちづくりガイドライン』及び『個別整備計画』の検討状況と、当日頂いた主なご意見については、次頁以降で詳しくご紹介します。



▲第9回 GCS 推進会議の様子

当日の資料は市ホームページで  
ご覧いただけます！  
アクセス方法については  
最終頁をご覧ください！



## 2 まちづくりガイドラインについて

これまで、GCS構想の実現にあたり、公民がまちの将来イメージを共有した上で、連携してまちづくりを進めるための指針となる『まちづくりガイドライン』の検討を行ってきました。

⇒今回の推進会議では、今年3月にご提示した「まちづくりガイドライン（素案）」からの構成の変更や、今年度行ったパブリック・コメントや各部会、個別地区ヒアリング、デザイン調整WGで頂いたご意見を反映させた内容の確認を行いました。

### 都市空間形成の目標・指針・方策案

| (都市空間形成の目標)<br>ガイドラインとして目指す6つのこと   | (整備の指針)  | 主な方策案 <span style="color:red">検討中</span>                        |
|--|--|---|
| <b>まちとえきをつなぐ<br/>回遊空間をつくる</b><br>まちとえきをゆるやかにつなげる<br>パブリックスペースの創出<br>(回遊性) <b>1</b> | ①まちとえきをつなぐ人のための空間“(仮称)アーバン・パレット”の創造<br>②街路と沿道を一体的な空間として活用する“(仮称)ストリート・テラス”の創出<br>③界隈性のある路面商業空間の発展的な継承<br>④誰にとっても利用しやすい回遊空間のユニバーサルデザイン化 | イベント等で人が集まり賑わいが生まれる交流広場の整備<br>界隈性のある路面商業空間の誘導                   |
| <b>ひとにやさしい<br/>立体的交通空間をつくる</b><br>ストレスフリーな歩行環境と円滑で利便な移動環境の形成<br>(交通) <b>2</b>      | ①橋上駅舎の立体的性を活かし、コンパクトで円滑に乗換ができる交通広場の整備<br>②開発街区の駐車場を結ぶ地下車路ネットワークの形成<br>③誰にでもわかりやすく利用しやすいサイン・案内システムの導入<br>④様々なニーズに応える多様な交通モードとの連携        | 隣接する敷地と一体的にデザインされた交通広場の整備<br>高齢者やインバウンドに対応したサイン・案内システムの導入       |
| <b>新たな価値を発信する<br/>先進的なまちをつくる</b><br>東日本との連携を見据えた大宮ならではの都市機能の導入<br>(都市機能) <b>3</b>  | ①東日本をひとつの圏域と捉えた経済活動の拠点づくり<br>②大宮のこだわりによる商業環境の形成<br>③人口動態や働き方の変化に合わせたライフスタイルの提供<br>④スーパーシティ・スマートシティ化による業務・商業需要の創造                       | 東日本や海外における成長企業を誘致した「ビジネス機能」の創出<br>東日本の味を集積させた特徴のある「食文化」の創出      |
| <b>安全安心の要となる<br/>まちをつくる</b><br>先進技術の誘導による災害に強く自然にやさしいまちの実現<br>(防災・環境) <b>4</b>     | ①地下空間も活用した大宮セーフティバックアップ・シティとしての防災性能の確保<br>②大宮駅前版、低炭素まちづくりの誘導<br>③環境緑化や環境活動の推進  | 災害時でも安定したエネルギー供給が行える自立型エネルギー地区の構築<br>社会問題に対応した積極的な環境緑化の推進       |
| <b>市民が誇らしく思い、<br/>来街者が感動する景観をつくる</b><br>地域資源を活かしたここにしかない景色の創出<br>(景観) <b>5</b>     | ①鉄道のまちを感じることができる視点場の形成<br>②シンボル性の高い都市軸街路空間の誘導<br>③五感に訴求する豊かな街路景観の形成<br>④時の経過とともに趣きを感じられるアーバンデザイン                                       | 大宮の地域資源を望む「視点場」の形成<br>開放的な街路空間を形成する壁面ルールの誘導                     |
| <b>まちの質や魅力が<br/>持続するしくみをつくる</b><br>“大宮”に関わるみんなで取り組む未来像の具現化<br>(エリアマネジメント) <b>6</b> | ①公共空間及び民地内公開空地の一体的なエリアマネジメント<br>②ターミナル街区全体でのデザインマネジメントとマーケティング<br>③まちの創造性を持続させる組織・体制の構築  | 公共空間や民地内公開空地を「公民連携で一体的に管理運営」する<br>まちとともに成長するエリアマネジメント「組織・体制」の構築 |

## 3 個別整備計画について

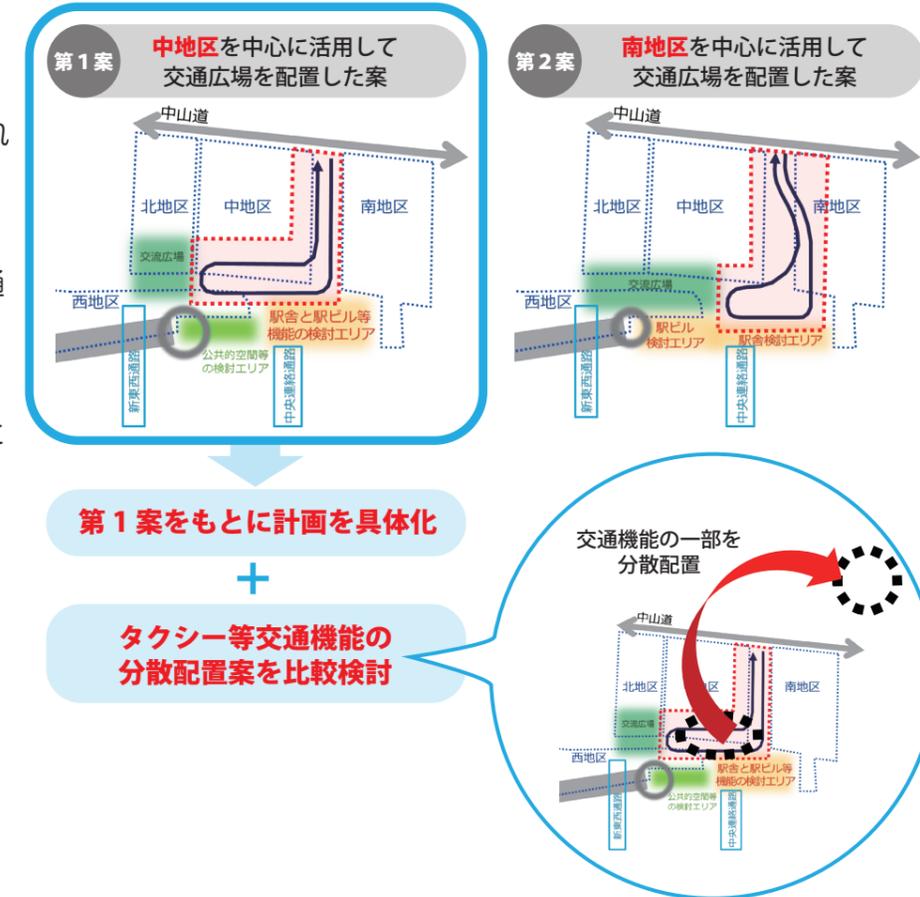
ここでは、第9回GCS推進会議で提示した2つの『個別整備計画』についてご紹介します。引き続き、各計画について、関係者との協議・調整や詳細な検討を進めていきます。

### 01 構想実現案

これまで、大宮駅東口の交通広場や交流広場を配置した構想実現案について、2案をそれぞれ比較検討してきました。

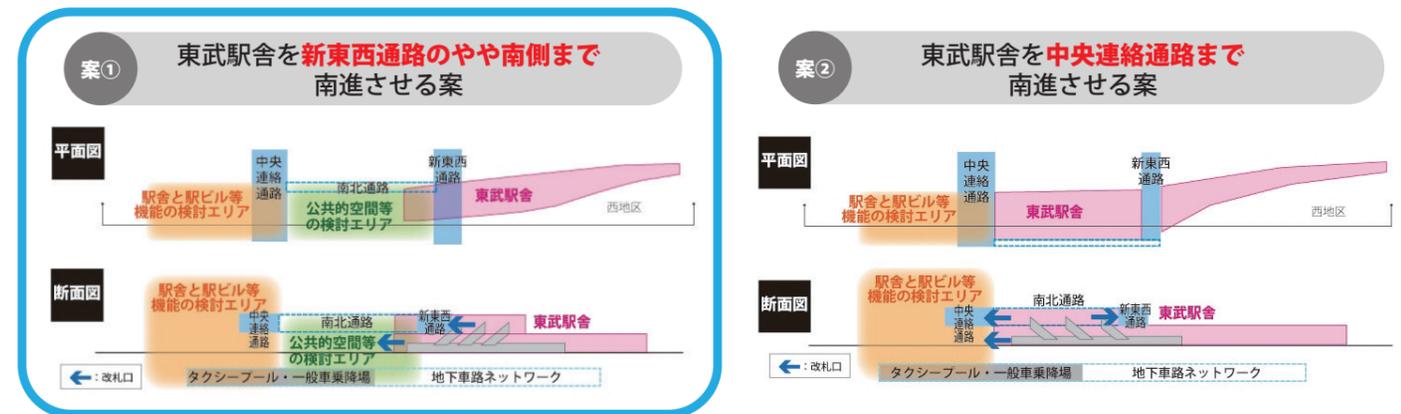
⇒今回の推進会議では、第1案・第2案を比較検討した結果、交通広場のレイアウトの効率性や、将来的な拡張・再整備における柔軟性等を考慮し、第1案をもとに計画を具体化していくことを行政から提案しました。

今後は、会議の中で頂いたご意見を踏まえ、将来的な可変性も考慮して、タクシー等交通機能の分散配置案を比較検討していきたいと考えております。



### 02 駅改良計画

これまで、大宮駅の機能高度化のため、東武駅舎の南進距離等が異なる2案を比較検討してきました。⇒今回の推進会議では、新東西通路と中央連絡通路の間を「公共的空間等の検討エリア」として活用可能な案①\*をもとに、計画を具体化していくことを確認しました。



案①をもとに計画を具体化

\*駅改良計画に関して今回の第9回GCS推進会議で確認を行ったのは、東武駅舎の南進距離についてのみであり、上の図で示している「公共的空間等の検討エリア」や「駅舎と駅ビル等機能の検討エリア」の位置や範囲等については、今後、関係者協議をしながら確認していくと考えております。